

※当資料は、DWS グループが 2021 年 5 月 27 日に発表したニュースリリースをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳したものです。



ニュースリリース

ロンドン

2021 年 5 月 27 日

DWSがスポンサーを務めるレポートによって、年金基金のポートフォリオにおいてESGの「S(社会)」要因が存在感を増していることが明らかに

- ESG の「S」要因が年金基金の運用者にとってより重要に
- 世界各国の年金基金を対象に行った最新の調査結果をまとめたレポートで、年金基金の「S」要因への取り組み方が明らかに

新型コロナウイルスによる危機を受け、年金基金の投資判断においてESG(環境・社会・企業統治)の中の「S(社会)」要因がますます重要な役割を果たしていることが、DWS がスポンサーを務める最新の調査で明らかになりました。

調査対象となった年金基金のうち約 66%は、今後 3 年間で「S」要因を持つパッシブファンドへのアロケーションを増やす意向であり、また約 67%は顧客の社会的課題を実現してきた実績に基づいてパッシブマネジャーを選択するとしています。

本件を担当した英 CREATE-Research 社は、世界 17 地域、運用資産合計が 2.1 兆ユーロにおよぶ 142 の年金制度を対象に調査を実施しました。また、そのうちの 40 の年金制度は調査後のインタビューにも応じており、調査結果に定性面での深い知見がもたらされました。最終報告書は「パッシブ投資レポート 2021: ESG における社会的要因の重要性」として 2021 年 5 月 27 日付で発表されています。

その他の主な調査結果は以下の通りです。

- 新型コロナウイルスについては、その重大性の高まりを受けて、回答者の約 59%が「S」要因への関心を高めた「主な牽引役」として挙げています。
- 回答者の約 4 分の 1 に迫る 22%が、2020 年 3 月の相場急落時には「S」要因を持つパッシブファンドが広範な市場を対象とするベンチマークをアウトパフォームしたと回答しました。
- 3 分の 1 以上(36%)の回答者が、モデル化が困難なファット・テール・リスクを「S」要因に投資することで管理しようとしています。

DWS がこの調査のスポンサーを務めるのは今年で 4 年目となります。この調査では、年金基金によるパッシブ投資の拡大についても幅広く調査しています。なお、過去のレポートでは、スチュワードシップと環境問題に焦点を当ててきました。

「この重要な調査は、年金基金がパッシブ投資を継続的に受け入れていることを示すだけでなく、ESG の存在感が増していること、そして中でも『S』要因が重要であることを示しています。」と、DWS のパッシブ・セールス部門グローバルヘッドであるサイモン・クラインは述べています。

CREATE-Research 社の最高経営責任者であるアミン・ラジャン教授は次のようにコメントしています。「2021年の調査では、新型コロナウイルスが長い間隠されていた市場経済の失敗を明らかにしただけでなく、ESG の『S』要因への注目度の高まりが、これらの失敗に対処するためにどのように役割を果たすことができるかを示しています。」

レポートの全文(英語)は以下のリンクからご覧いただけます。

[Passive Investing 2021: Rise of the social pillar of ESG\(英語\)](#)

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにDWSグループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ（以下DWS）は、約8,200億ユーロ（2021年3月末時点）の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,500人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。